



そして私は今日も
あの男に食べられる
-続-

彼氏持ち優等生

×SEX漬け

フルカラーコミック 40P

そして私は今日も
あの男に食べられる

- 続 -





「あの日」以来――

先生と私の…
歪な関係は
続いてしまっている

誰にも相談できない
ままずるずると…っ！
今日こそ私は…

先生に…っ！！

いやっ…あつ
離してくださいっ

寒くないんですか
その格好っ！

そんなつもりって
なんだあ…ん？

今日はそんな
つもりじゃ…っ

こういうこと
か…？

せ…
せんせいっ！？

ちーがうだろー
春菜 あーっ

そこは先生
だろーが！

!?

ああ……っアア……

ちんぽ欲しがってるのに
亮太にお預けされて
苦しそうなお前を先生が
助けてやったんだろうが

処女散らしたその日に
中イキかまして 翌日
喜んで俺のちんぽ
しゃぶってるメスガキ……

それがお前だ
春菜

ち……ちがう……っ





なんですか
この格好…っ

いいじゃない
高い買い物した
かいがあったぜ



どうだ春菜
終わったか？



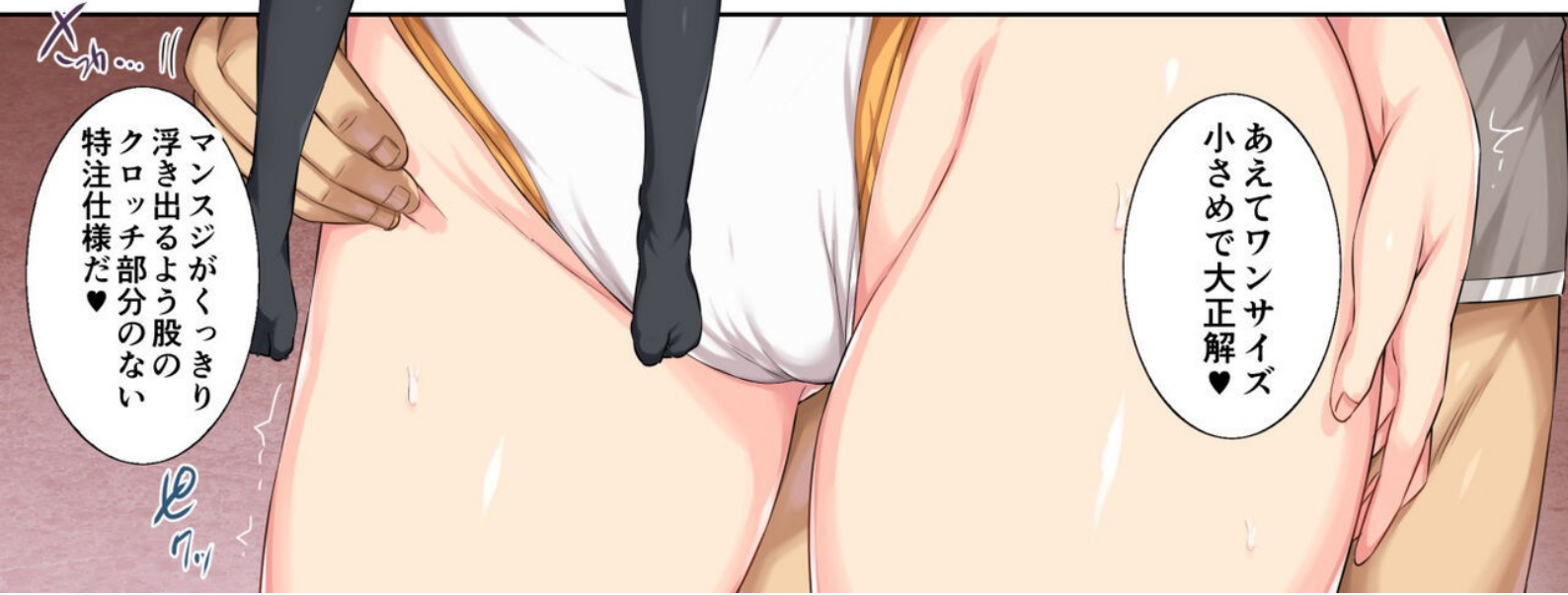
すまん狭い
ビジホしか空いて
なくてな…！



き…
キツイ…っ

おおっ

おちっ♡



あえてワンサイズ
小さめで大正解♡

マンズジがくつきり
浮き出るよう股の
クロッチ部分のない
特注仕様だ♡





あの日ー

春菜いいって
そんな無理しなく
てもっ！

うっ…ああ…!!

すげ…っ
口のなか…

やばっ…！

それヤバい…っ
春菜ッ…っ!!
はげし…っ

ふっ

すぐ出ちゃう
って…っ!!

無理してない
よ…♡

好きな人のなら
汚くないから…♡

キモチイ
…っ?

てかもうっ
…!!



普通のHで十分
幸せだからみたいなの
フォローはしてい
いたと思う...

春菜っ

春菜♡

けれど亮太は
私が望んだことは
最後までしてくれ
なかった

...

私はたくさん
舐めたのに...

♪♪♪

グググ



あっ♡

♡♡♡

ああっ...

はあ♡

アアアアッ♡

じゅるるる

どうだあ先生のつ
二時間連続...ツツ

無休憩クニニ
の味はあ!!

あっ♡

あっ♡



先生ッ…!!
一度…止めッ…

お前が…

舐めろって
いったんだぞ

やだッ…

また広げ
…っ!!

しばッ

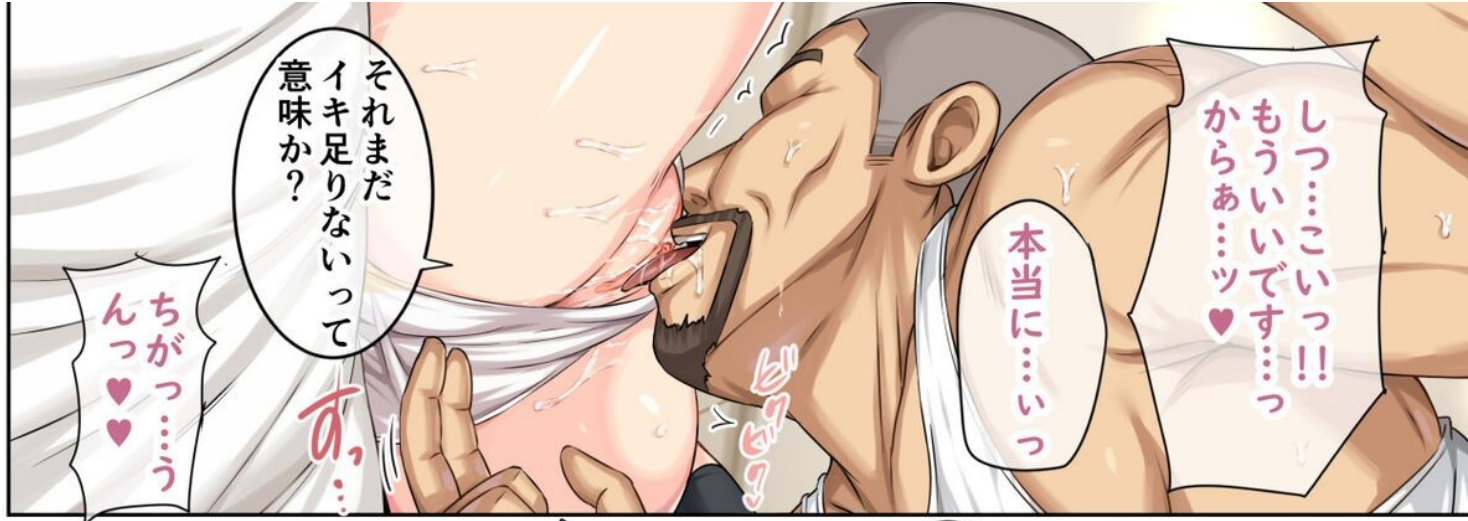
止めてくださ…いつ
もう何度も…っ
ンンっ♡

オイオイもう
へばったのかぁ?
んん?

中ヒクつか
せやがって

あッ…!!
がっ…♡♡

セン…ッ
セ…ッ♡





ひゅー...

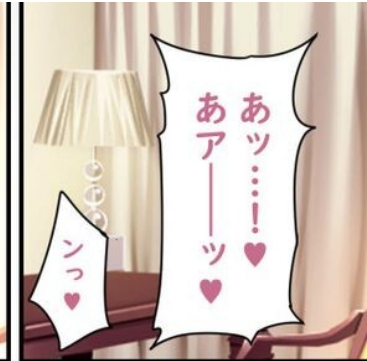
ひゅー

おーい



ア...

あ...

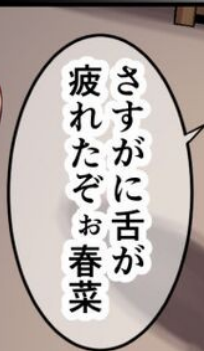


んっ♡

あッ...!♡
あア—ツ♡



聞こえちゃ
いないか...くく



さすがに舌が
疲れたぞお春菜



反応なし
まこんな
もんだろ



よっくら
せっと...

ご満足してお休みの
ところ悪いんだが
俺の目的は最初から—

こっちだ

ふー





使うぞ 春菜



ちよいと粘度が
足らなそうだ...♡

マン液だけ
じゃあ...

とほほ...



おおそうだ...
ローション
ローション...



こりゃあ...
キツくて
かなわん...♡



おほ...っ

ほ...おっ



これでフル
コンプリート……っ

お前の処女は
ぜんぶ……っ!!

マンコも口も
ケツも……!!

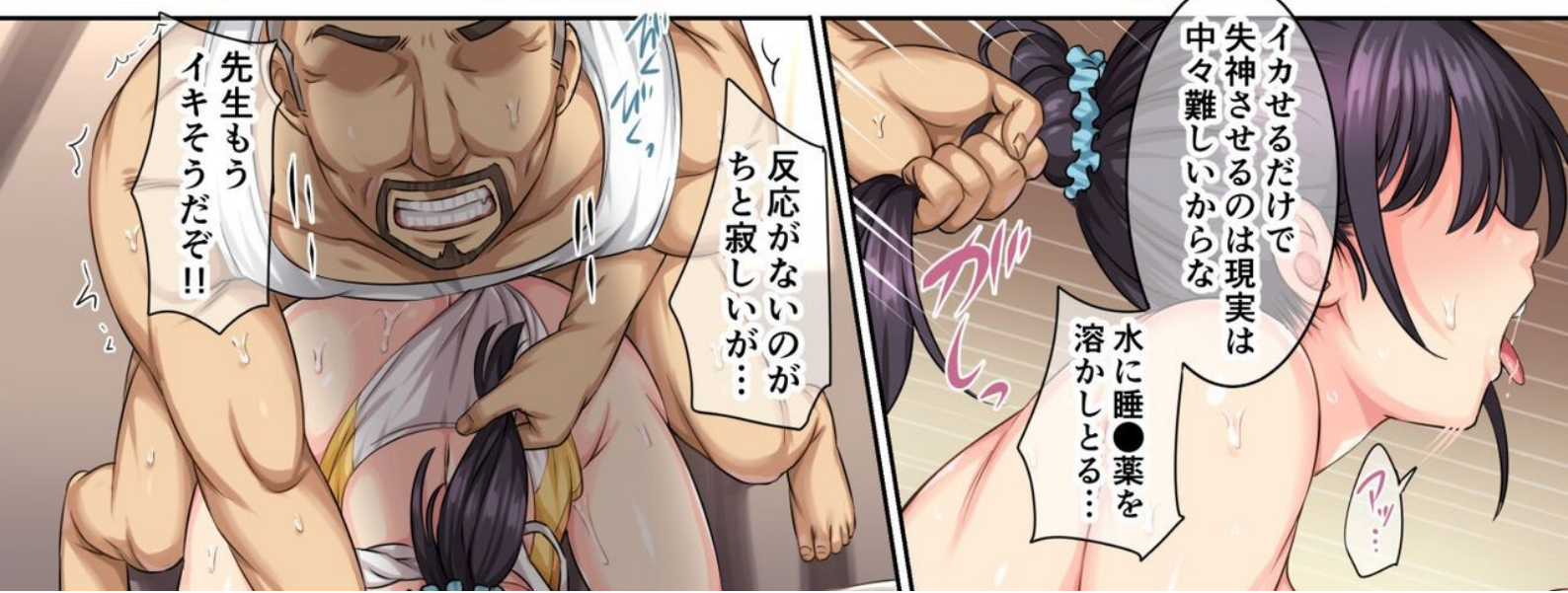
ああ……っ
腰止まんねえ



へへ……全然
起きやしねえ

水分補給で渡した
ペットボトルを
結構飲んだよなあ……!

クンニ前に……っ



先生もう
イキそうだぞ!!

反応がないのが
ちと寂しいが……

イカせるだけで
失神させるのは現実
は中々難しいからな

水に睡●薬を
溶かしとる……











いっ…あっ♡
ああああっ♡

教師に嘘つくなっ
悪い子には中出し
だあっ



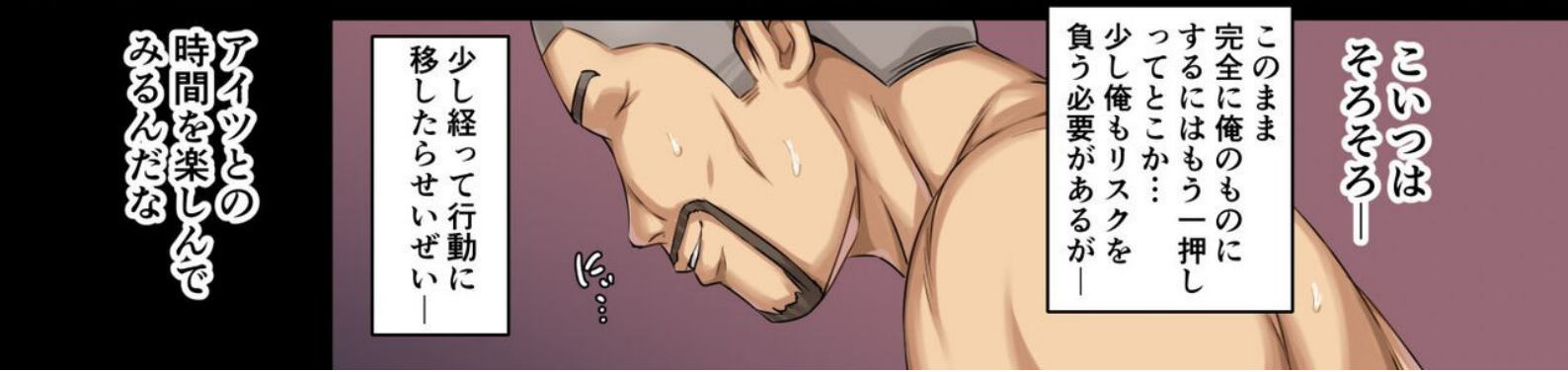
フウー

ボウッ…

毛がないってのは
クンニ以外でも
案外悪くないな
こう…滑りがいい

とっ…

なあ春菜？
へへ…お前今
すごい色っぽい
顔してるぞ



こいつは
そろそろー

このまま
完全に俺のものに
するにはもう一押し
ってとこか…
少し俺もリスクを
負う必要があるがー

少し経って行動に
移したらせいぜいー

アイツとの
時間を楽しんで
みるんだな



はあ…

それから少し経って
三年生の秋が
終わった頃—

ぱったりと先生の
要求は止まった

お…

同時にやっと
開放されたと
思ってた嬉しかった

受験に集中しろ—
今更教師らしい
言葉を発した事に
とても腹が立った

勉強も亮太との時間も
増えて充実しているはず…
なのにもやもやして

先生とSEXばかりして
ピルもよく飲まされて
重かった体が軽くなった

ずっと気分が
すぐれない—





…イブかあ
楽しみだな♡



ん…

すっ…♡

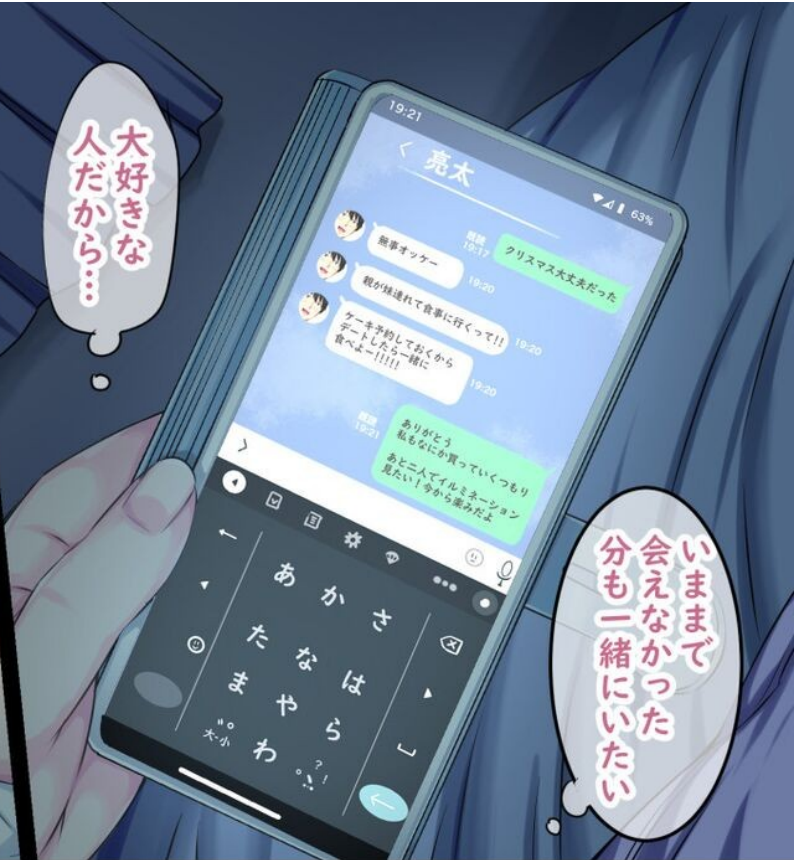
…



は…っ

はっ

そっ…



大好きな
人だから…

いままで
会えなかった
分も一緒にいたい



思い当たる
原因はある
きっと—

ん…はあ♡

亮太…♡♡
舐めてエ…♡

クリをっ♡

ん

亮太とのHが
うまくいってらな
ことだと思っ

そこっ

いい…っ♡



強くハグされたり
キスしたり…

精神的な幸福感や
気持ちよさは
感じるのに—

亮太とー
ただの一度もHで
イケていない…

随分…うおっ
上手くなったぞお
春菜…っ！

んっ♡んっ
んう…っ♡

きっとあの男に
ヘンタイみたいなの
恥ずかしい事を無理やり
教えられ続けて身体が
おかしくなったせいだ…

最後の杭打つ感じの
腰の動きハメ撮り
映えして良かったぞ

あ…ありがとうございます…♡
ごさいます…♡

は♡

はあ…っ♡
はっ…♡

最近エロスイッチ
すぐ入るなお前w

どろろ…



出ちゃった...

う...ごめん



...ッ!

り...亮太は
悪くないっ

カキカキ



なによりー
少し高まってきても
結局亮太が先に...

えっ...と...
また...?

あ...あれ...っ
抜けちゃ...う

彼氏のいる友達に
相談したら
早漏じゃないかって...

はあっ...あ
う...あ



お腹が圧迫されるような
あの苦しさが無い

アソコも...先生のより
細くて反り返ってないから
ちよっとかわいくて...



動物みたいに腰を
振ったりしてこない

挿れるときに今も
気遣ってくれるし





そうだー
私はとっくにわかっていたんだ

亮太に嘘をついて
体育倉庫にいた日…



でも考えない
ようにした

後ろめたくてー



先生のはー

ア…あ

アッ…



届く…

ほおおおっ♡

オッ♡♡



あ…最低だ私…
いま…

比べちゃったー

ギョウウウ♡♡

ギョウウ



ふうー♡

ふうー!!

……ッ!

ハハハ

自分でなんて…
したことなかったのにー

はあ…あつ

はっ

先生…ツ！

全部あの人が
おかしくしたー

勉強が捗るところか
頭どんどんバカに
なってきたるのが
わかる…

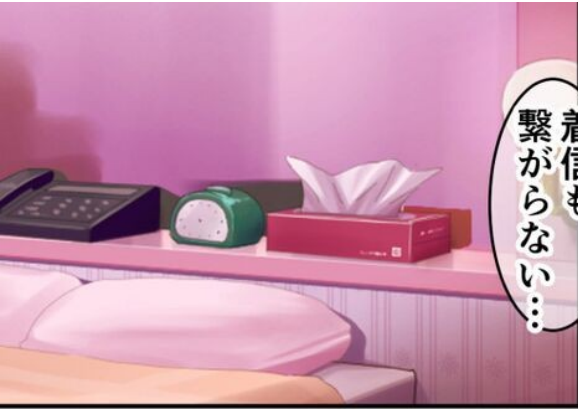
あの感覚が頭から
はなれない…ツ

セン…セツ♡♡

いっ

ああ…だめだ…
SEXしたい

SEXしたい
SEXしたい…！
イブの雰囲気なら…
その日…なら
きっと今度こそ
亮太と…最高の…っ



着信も
繋がらない…



既読に
ならないし



あつれえ

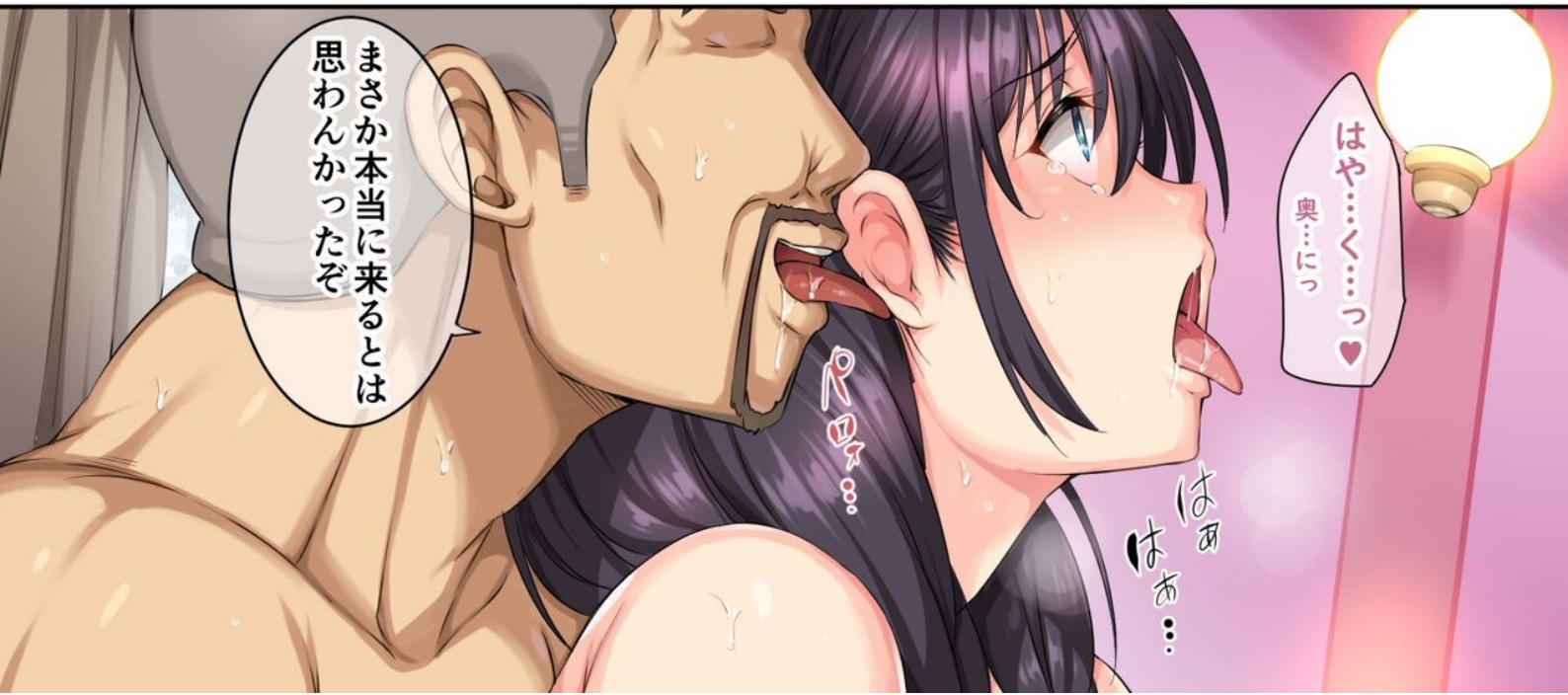


あ…あ♡

春菜あゝ

確認なんだが…
今日イブに
「このホテルにいる」
とは伝えはしたが…

俺は「来い」とは
一言も言ってない
よなあ…?



まさか本当に来るとは
思わなかったぞ

はや…く…っ♡
奥…にっ

はあ
はあ…



で迷った
あぐく土壇場で
折れた...と

直前まで亮太と
会う気だった
ってとこかな

髪型もキメて
下着もお前に
しちゃ目立つ...

あ...♡



もう「言い訳」
できなくな
ったからな

キタツ...ああ♡
♡♡♡♡♡



ここからは
100%...ッ

先...生ッ

お前が選んだ
ことだッ...!!



イケません…っ
でしたあ…♡♡

エロガキW

泣きながら俺の
動きに腰合わせて
んじゃねえW

イケっ…
ううっ…うっ
おっ♡…ぐ

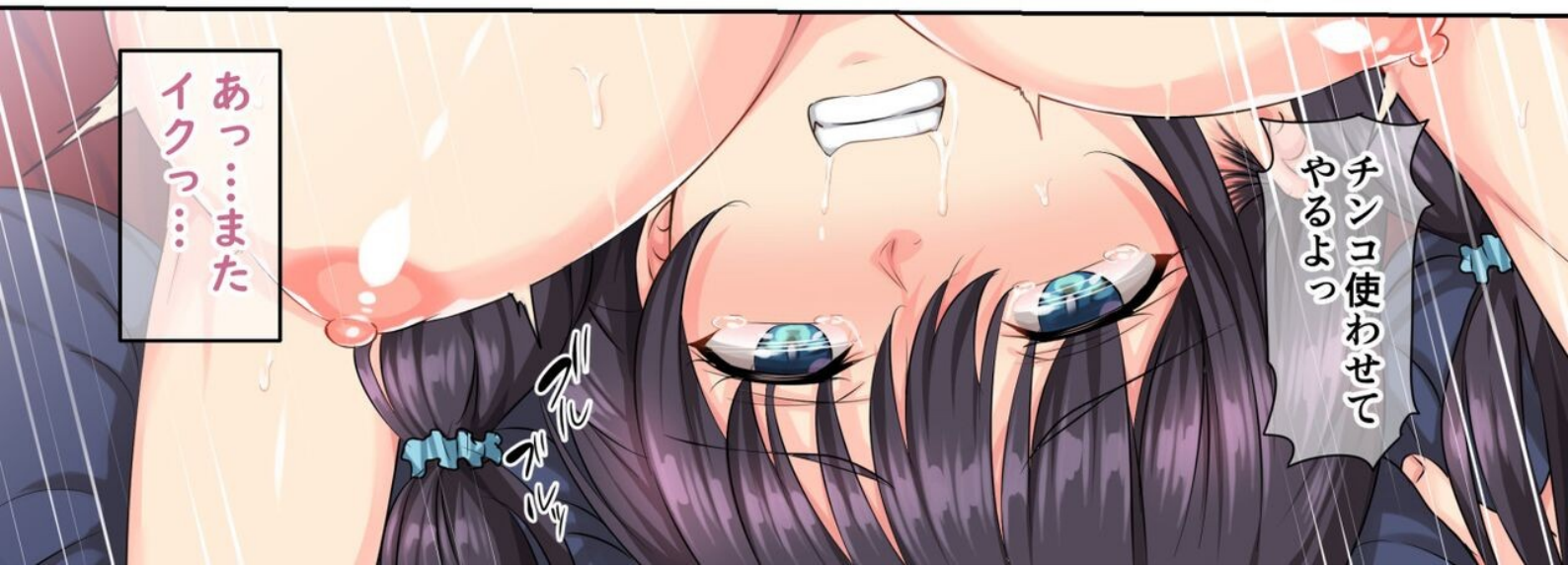


マンコいつでも
使わせろっ!!

俺がやりたく
なったら…ッ

はいっ…♡
はいいいッ…イ♡♡

これから
お前がやりたく
なっても…ッ!



チンコ使わせて
やるよっ

あっ…また
イクっ…

亮太 寒い中
ごめんなさい

まだ私を待つて
いてくれますかー

私を好きでいて
くれますかー

どこに出して
欲しいんだっ!!

ナカに...ツツ♡

中にくださッ...
ああああ♡♡♡♡

ジュ
ジュ
ジュ
ジュ





うおおっ…

オっ…お

私は最低な
彼女だけど

相変わらず…
具合のいい
膣しとる…ッ

溜まってた分
濃い絞り出さ
れたぞお…



ほれお掃除の
時間だ春菜

お前のマンコで
汚したんだから
きれいにしろ



—もう卒業まで
じゃねえ 進学後も
かわいがってやる

身体は馬鹿に
なってしまった
けれど…心は—

はい…

俺専用の
マンコにする
からな

んっ…う
はい…う

—ならケジメ
つけろ

想いだけは—

…ます

けれど…
それすらもうー

もっとおっ
してっ

おっ

おっ
あっ



降り続ける雪の中
私は抱かれ続けた――

亮太にシンプルな
メッセージを送って――

全てを受け入れた
後は自分でも驚くほど
淡泊だった――



何もかもが変わったあの日
あの場所でキスしなければ……
写真を撮られなければ……

いまでも彼は隣で
笑ってくれていただろうか

そんな思いがよぎり
一瞬胸の奥を締め付けても

私の足は結局この
小汚いアパートに向かう

戻れない時間を
噛み締めながら――

そして私は

今日もあの男に
食べられる――

おわり



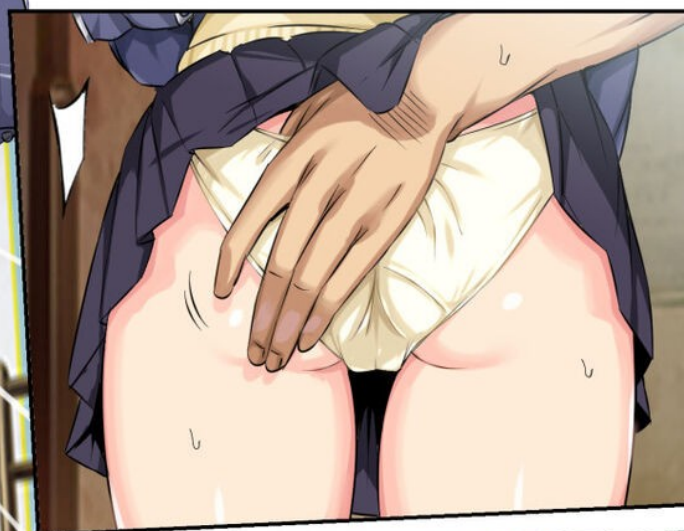


そして私は今日も
あの男に食べられる

- 続 -

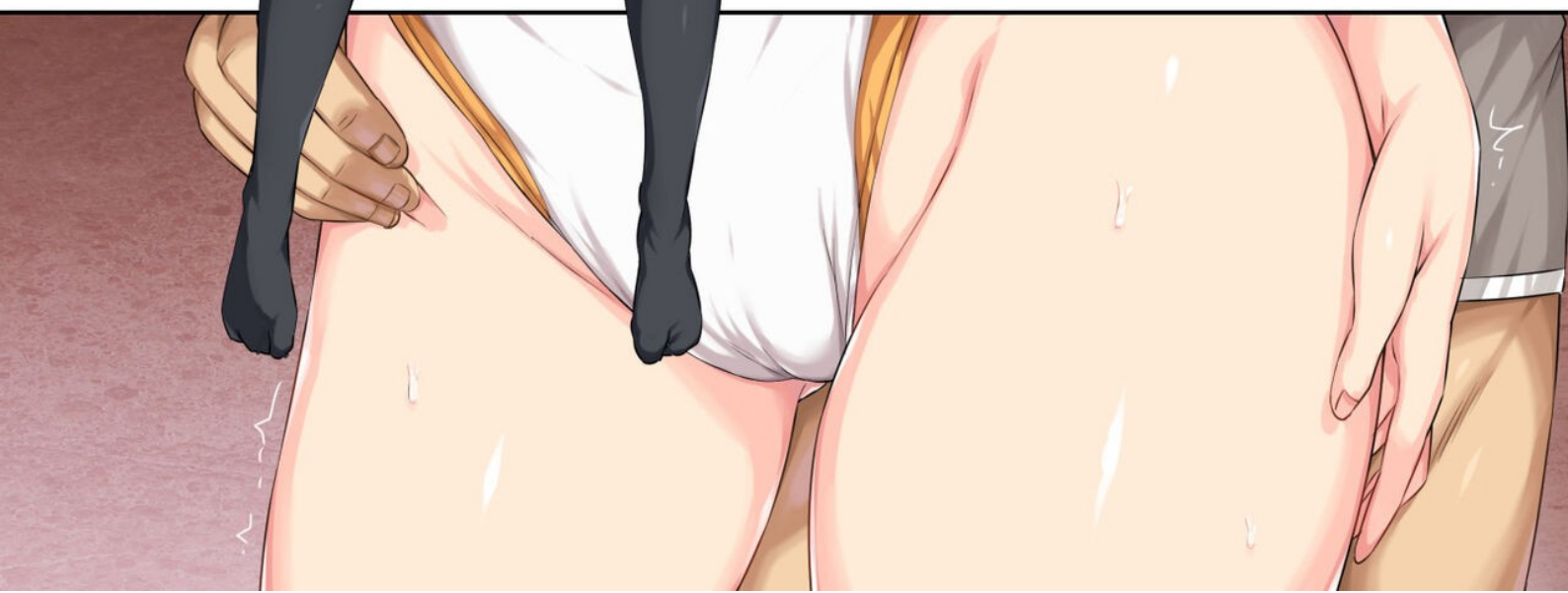
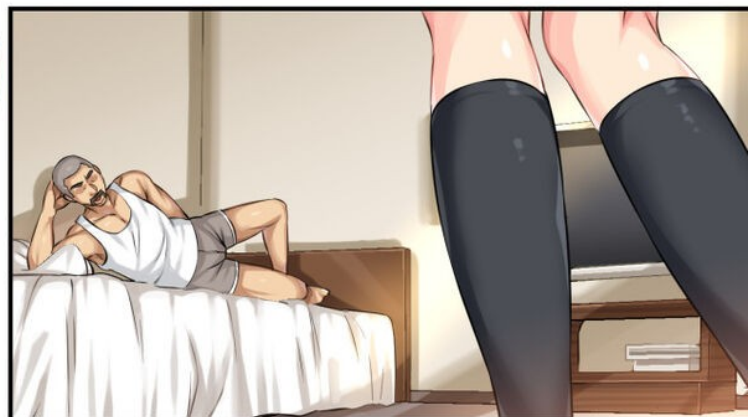






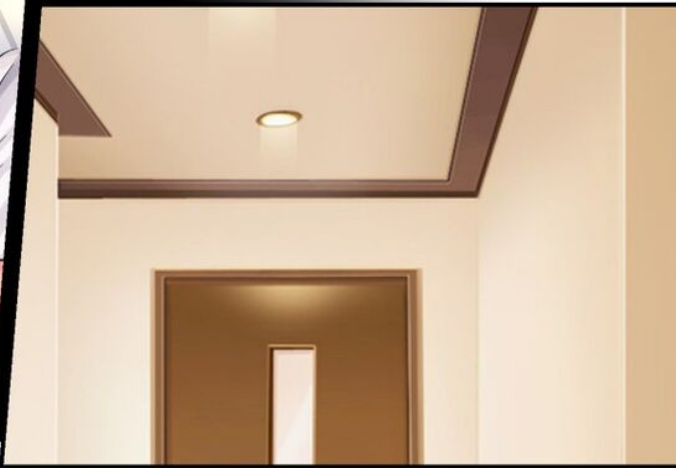




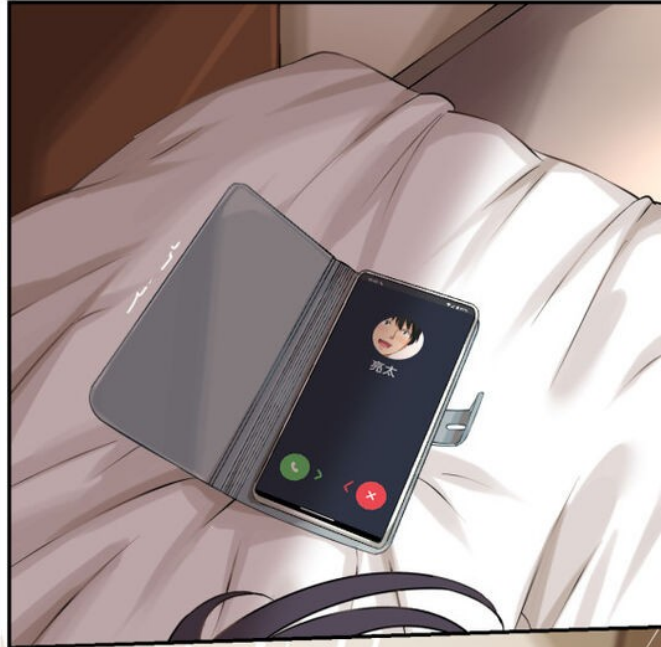




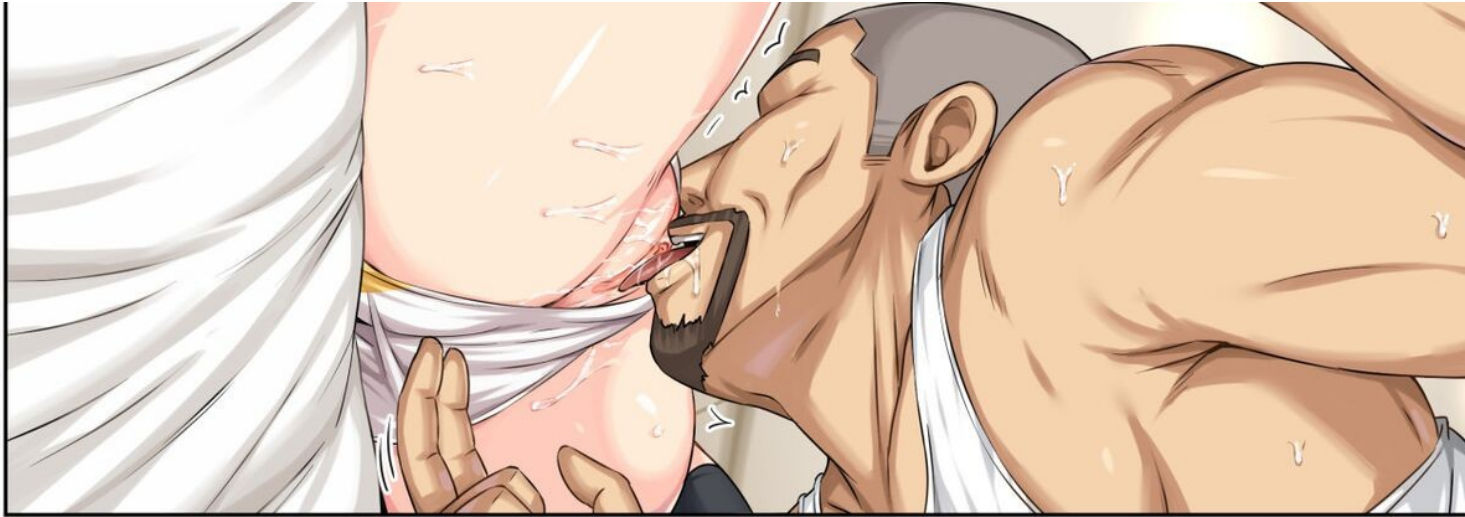






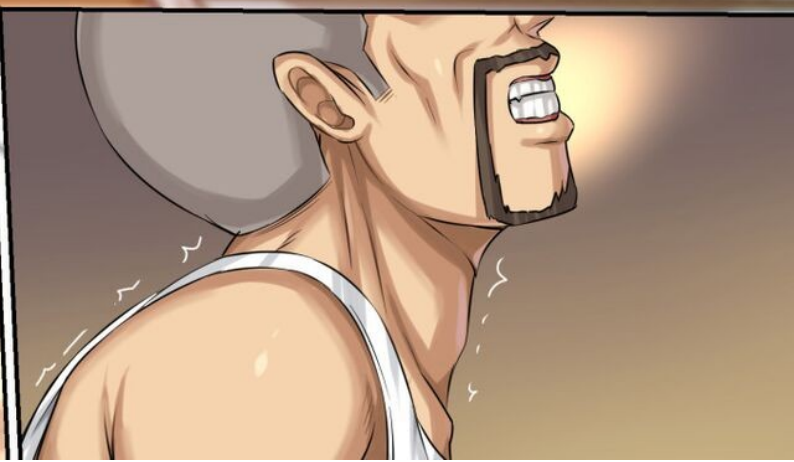


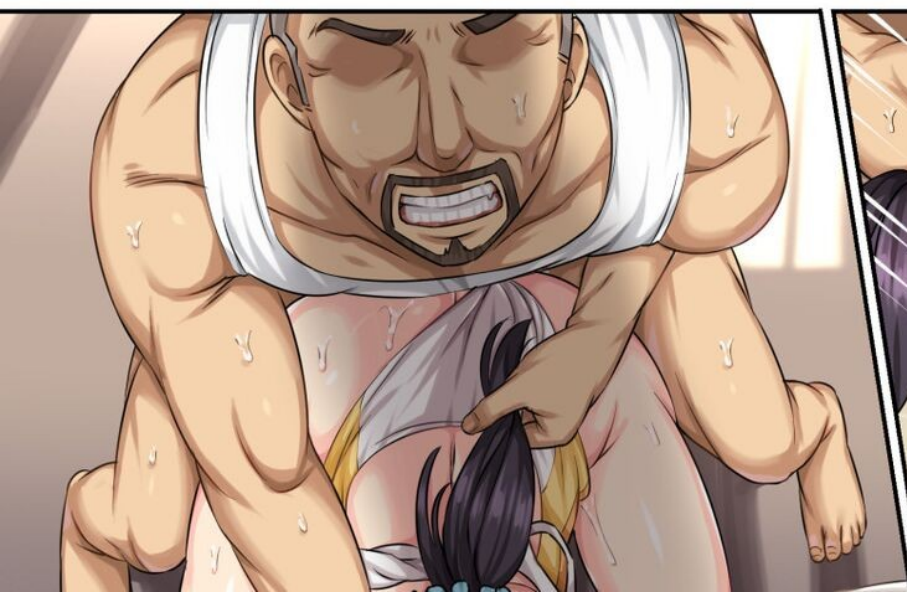


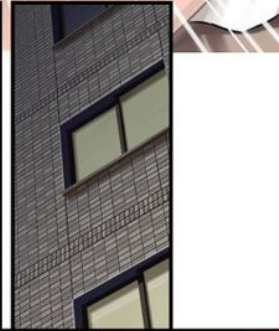








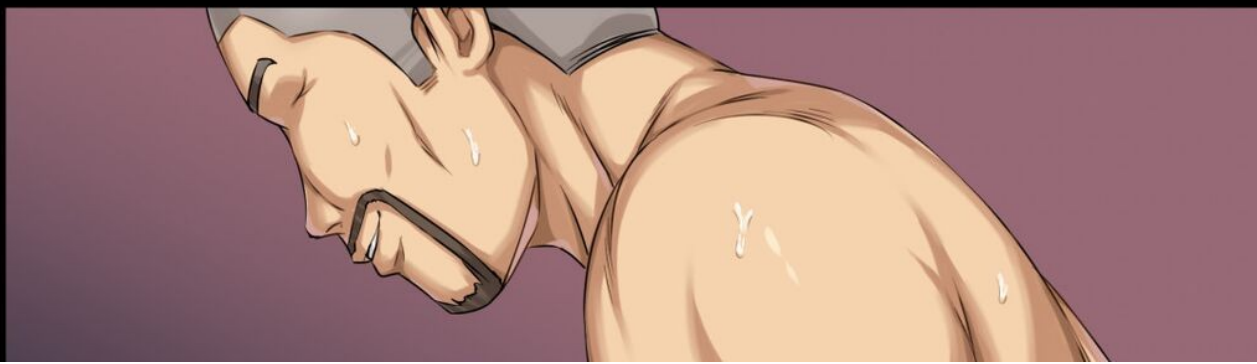


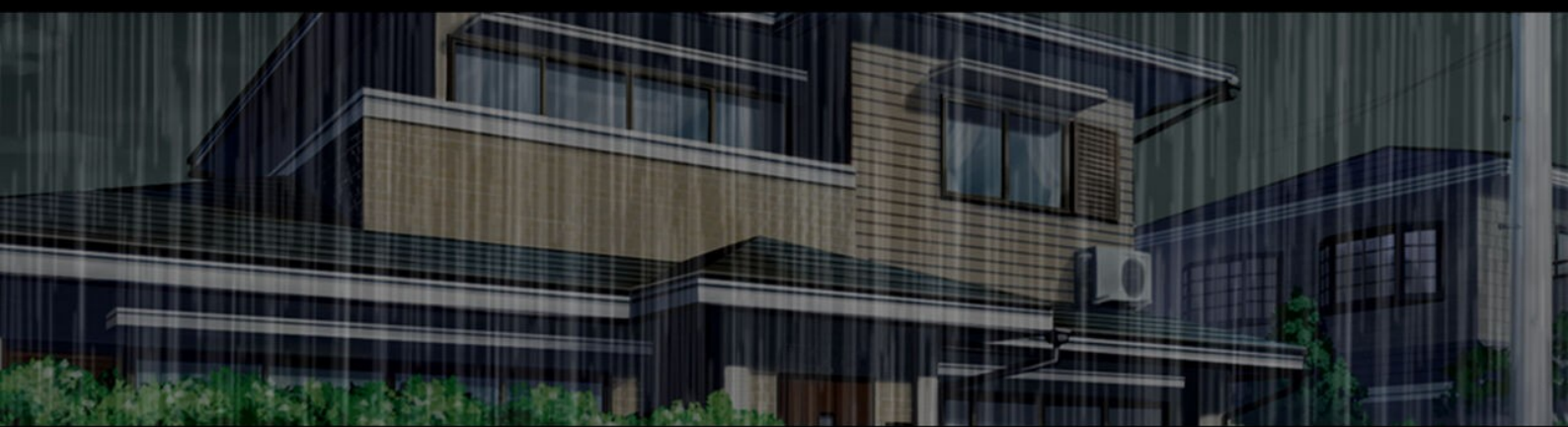
















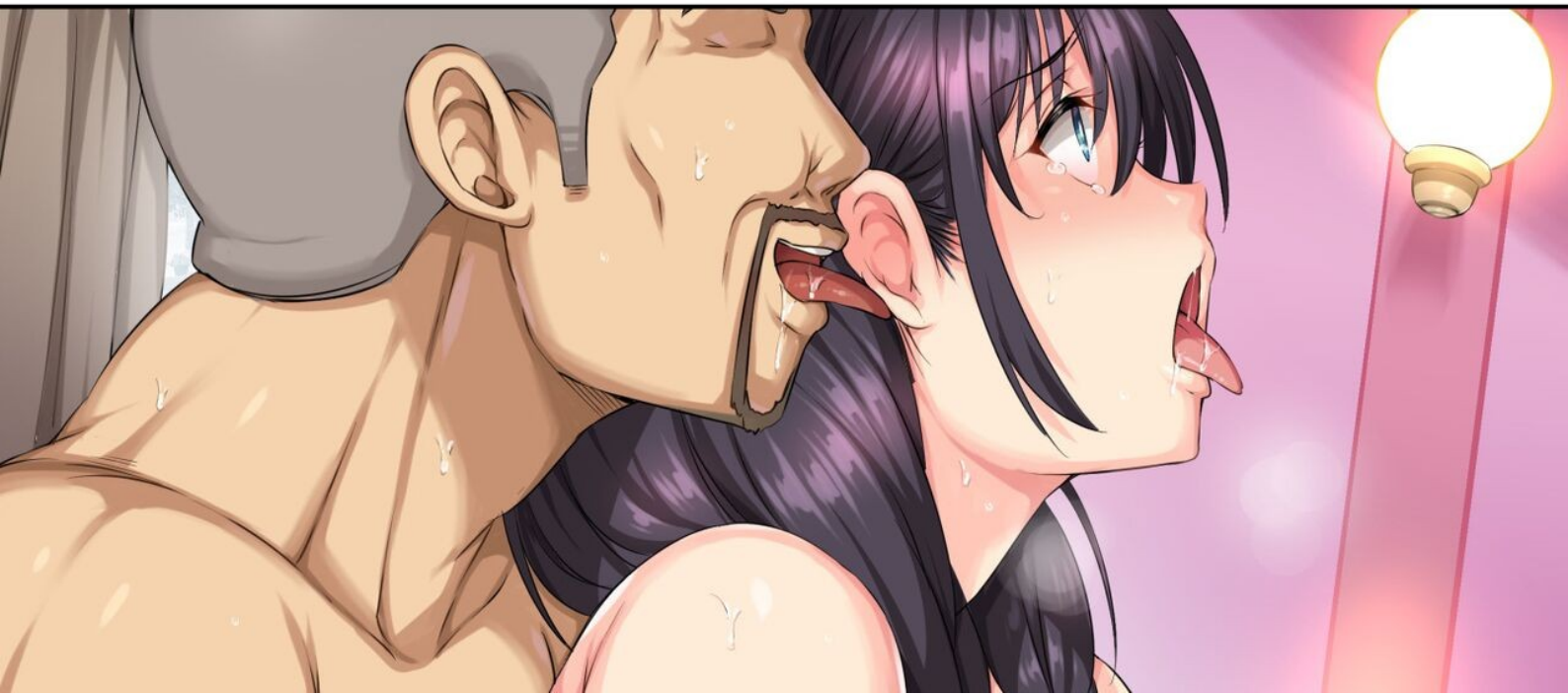
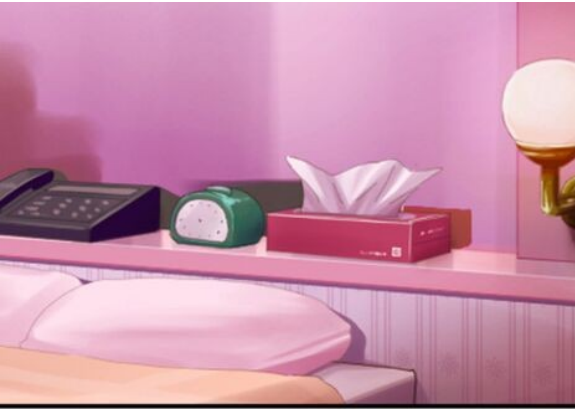


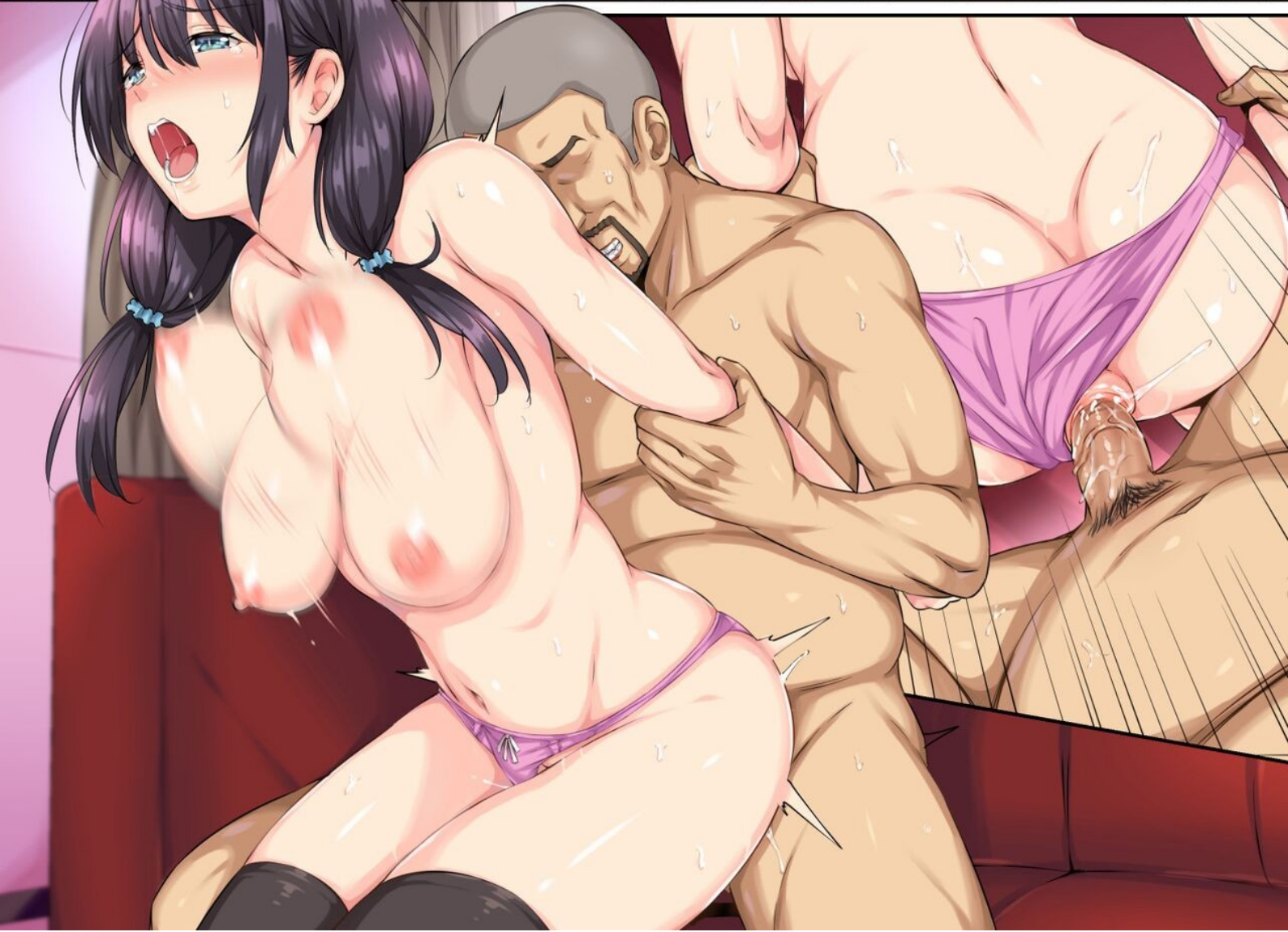


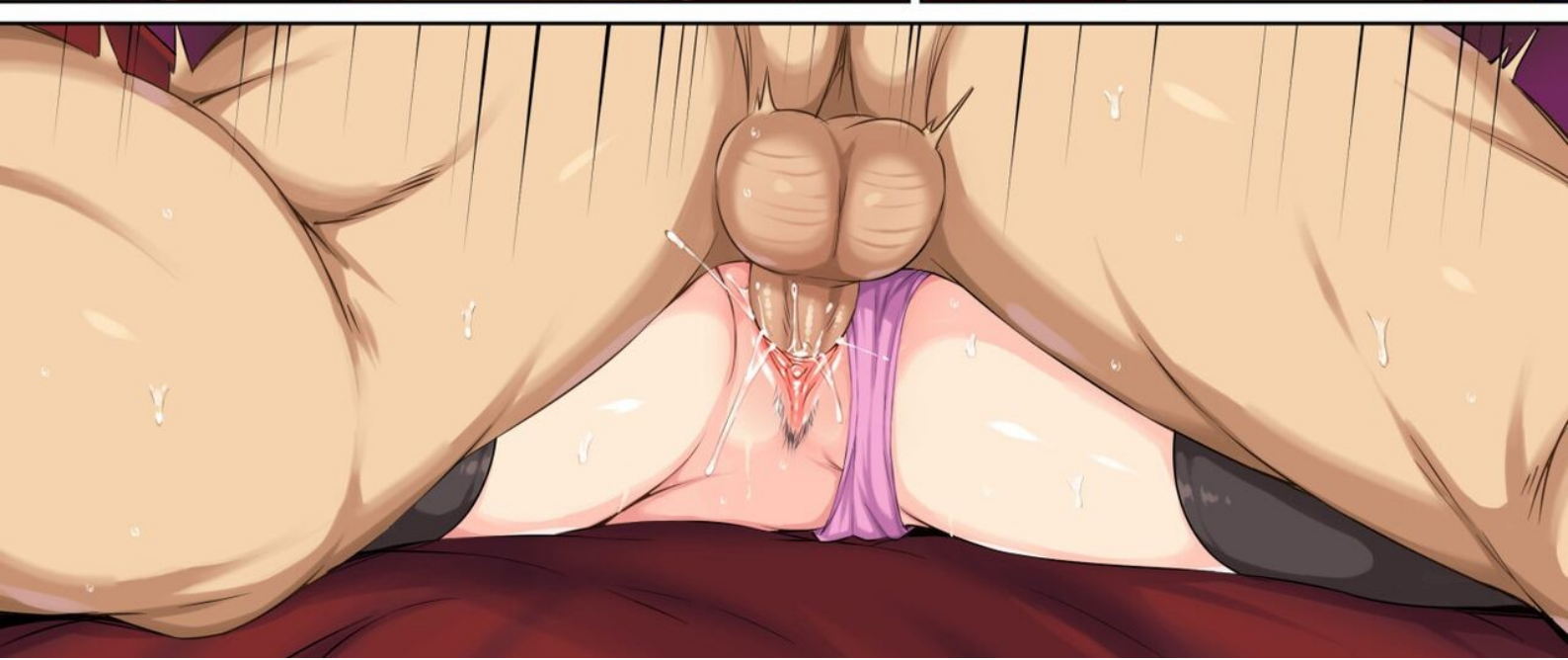


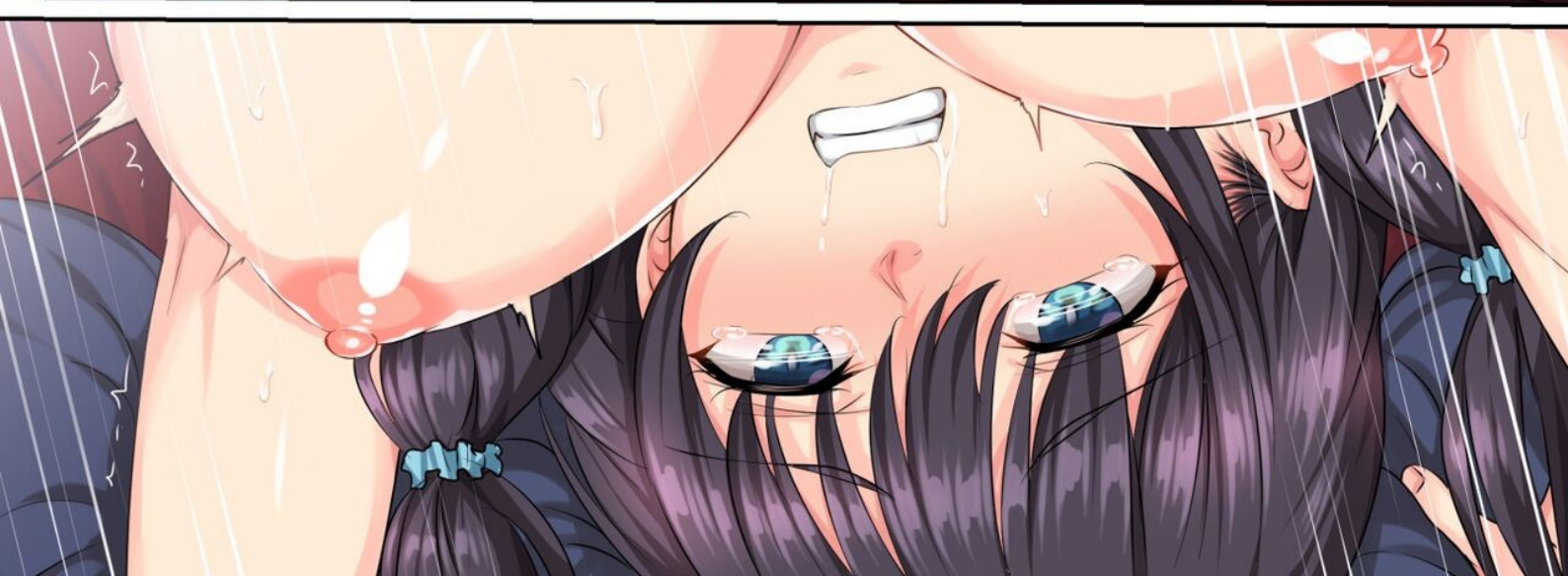


























ろくまる荘の支援サイトが始動!!

この度ろくまる荘の支援サイトが開設しました!

■支援サイトではどこよりも早い新作情報はもちろん
新・旧作の高解像度ラフ・作品の裏話や未公開の画像
作画のハウツーなどを順次配信予定です。

■さらに今後新作・旧作の販売など
ろくまる荘のすべてが手に入る総合サイトになります。

もちろん無料プランもあり!

■支援サイトは現在

一設定①

Fantia

Ci-en

PIXIV FANBOX

以上の3サイトで
開設しています。

各サイト内 「ろくまる荘」で検索!

ご支援が増えますと背景など外注が可能になったり、
モチベーションがあがり作品の質・製作スピードの向上につながります(_ _)